

2 - 1 情報提供の現状と今後の提供のあり方（大川）

情報の区分	現在の提供状況	住民のニーズ	今後	
			当面の提供案	検討していく項目
(1) 河川の状況等に関する情報	河川水位等 ・基準地点での現在の水位と3時間先の水位。	河川水位等 ・居住地近くの河川の状況や今後の増水等の見込み。 ・いつ頃ピークになるのか、いつ頃どこまで水位が上がるのか等のきめ細やかな水位予測情報。	河川水位等 ・基準地点での現在の水位と3時間先の水位。 ・居住地の近くの川の状況が分かるぐらいの間隔で水位の状況を提供（河川巡視、ITV等の活用）。 ・堤防の低い場所（堤防の弱部）の情報を提供（河川巡視等）。	河川水位等 ・基準地点以外でも、水位予測結果を提供できるよう検討。 ・長時間先の水位予測の精度を上げるよう検討を行い、提供していく。
	氾濫などの危険性 ・堤防等の異変（漏水、洗掘等）の状況と基準地点より下流で氾濫の恐れのある水位（危険水位）との関係で氾濫の危険性を情報提供 （平常時） ・市町村、水防団には重要水防箇所を情報を提供。	氾濫などの危険性 ・いつ頃、どこで氾濫するか等の情報。 （平常時） ・居住地近くの堤防等のどこが危険なのかの情報。	氾濫などの危険性 ・居住地の近くの川の状況が分かるぐらいの間隔で堤防の状況を提供（河川巡視、ITV等の活用）。 ・堤防の異変（漏水、洗掘）箇所の情報を提供（河川巡視等）。 ・越水氾濫開始時刻 （平常時） ・住民にも重要水防箇所の情報を提供。	氾濫などの危険性 ・センサー等を堤防に埋め込み堤防等の異変を監視。
(2) 居住地等の浸水に関する情報	・大雨洪水注意報・警報で、「低地では浸水の恐れ」の注意喚起程度の情報 （平常時） ・ハザードマップ（最大浸水範囲・浸水深の包絡図）	・周辺の浸水状況 ・居住地等が、いつ頃、どこで、どの程度の浸水となるかの情報。	・周辺の浸水状況の提供（河川巡視及び水防団、住民のモニター等との連携により把握）。 ・越水氾濫開始時刻 ・氾濫に注意すべき地域を情報提供（過去の氾濫実績や計画流量、計画波形でのシミュレーション等を基に） （平常時） ・河川の地点ごとハザードマップ（一定間隔でのシミュレーションによる最大浸水範囲や浸水深を可能性のあるとして提供）	・浸水センサー、人工衛星を活用したりリモートセンシング等により現在の浸水状況を提供。 ・3D地図を活用し、コンピュータシミュレーションでリアルタイムの氾濫計算結果を提供。
(3) どのような行動をすればよいかの情報	・河川管理施設の被災状況や、復旧状況を提供。 ・その他の施設等は、市町村などの各々管理者等から提供。	防災一般の情報として備えておくこと等の情報。	・関係省庁とも連携して、防災時一般の情報としてマニュアル等を作成し、全国に周知・浸透させていく。	・関係省庁と連携し、水害時にどのような段階で、住民がどのような行動をすべきか等を検討していく。
		浸水などの現象と被害との関係を理解でき、緊急時に的確に行動できるための情報。	・河川管理者の情報提供時にあわせて提供する。	
		鉄道や道路情報と河川の情報とを重ねた総合的な情報。	・防災情報提供センター等の整備の一環として情報を提供していく。	

2 - 2 情報提供の現状と今後の提供のあり方（中小河川）

情報の区分	現在の提供状況	住民のニーズ	今後	
			当面の提供案	検討していく項目
(1) 河川の状況等に関する情報	<p>河川水位等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洪水予報対象河川は、大河川と同じ。</li> <li>それ以外は、</li> <li>大雨洪水注意報・警報で、「河川では増水の可能性」との注意喚起程度の情報</li> </ul>	<p>河川水位等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>居住地近くの河川の状況や今後の増水等の見込み。</li> <li>いつ頃ピークになるのか、いつ頃どこまで水位が上がるのか等のきめ細やかな水位予測情報。</li> </ul>	<p>河川水位等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>洪水予報対象河川を増やしていく。</li> <li>水位計を順次テレメータ化し、情報提供していく。</li> <li>河川の水位等に関する情報収集と伝達（水防団等と連携）。</li> <li>マニュアルや研修で水防団等に周知</li> </ul>	<p>河川水位等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レーダ雨量計を使用し、雨量から洪水流量をリアルタイムで算出し提供。</li> </ul>
	<p>氾濫などの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防等の異変（漏水、洗掘等）の状況と基準地点より下流で氾濫の恐れのある水位（危険水位）との関係で氾濫の危険性を情報提供</li> </ul> <p>（平常時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村、水防団には重要水防箇所を提供。</li> </ul>	<p>氾濫などの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつ頃、どこで氾濫するか等の情報。</li> </ul> <p>（平常時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>居住地近くの堤防等のどこが危険なのかの情報。</li> </ul>	<p>氾濫などの危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防等に関する情報収集と伝達（水防団等と連携）。</li> <li>マニュアルや研修で水防団等に周知。</li> </ul> <p>（平常時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民にも重要水防箇所の情報を提供。</li> </ul>	<p>氾濫などの危険性</p>
(2) 居住地等の浸水に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨洪水注意報・警報で、「低地では浸水の恐れ」の注意喚起程度の情報</li> </ul> <p>（平常時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードマップ（最大浸水範囲・浸水深の包絡図）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の浸水状況</li> <li>居住地等が、いつ頃、どこで、どの程度の浸水となるかの情報。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の浸水状況の提供（河川巡視及び水防団、住民のモニター等により把握）。</li> <li>過去の氾濫実績を踏まえた浸水範囲等の情報</li> </ul> <p>（平常時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地形図等を使用し、最大浸水範囲、浸水深を提供。関係機関と協力してマニュアルを作成し研修。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3D地図を活用し、コンピュータシミュレーションでリアルタイムの氾濫計算結果を提供。</li> </ul>
(3) どのような行動をすればよいかの情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川管理施設の被災状況や、復旧状況を提供している。</li> <li>その他の施設等は、市町村などの各々管理者等から提供。</li> </ul>	<p>防災一般の情報として備えておくこと等の情報。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係省庁とも連携して、防災時一般の情報としてマニュアル等を作成し、全国に周知・浸透させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係省庁と連携し、水害時にどのような段階で、住民がどのような行動をすべきか等を検討していく。</li> </ul>
		<p>浸水などの現象と被害との関係を理解でき、緊急時に的確に行動できるための情報。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川管理者の情報提供時にあわせて提供する。</li> </ul>	
		<p>鉄道や道路情報と河川の情報とを重ねた総合的な情報。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災情報提供センター等の整備の一環として情報を提供していく。</li> </ul>	